

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成24年度 第1回武蔵村山市生涯学習推進会議
開 催 日 時	平成24年7月18日（水） 午後2時～午後4時
開 催 場 所	さくらホール（市民会館） 会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：栗原委員、佐々木委員、右手委員、内野(伸)委員、河原塚委員、原田委員、藤島委員、中澤委員、齊藤委員、長潟委員 事務局：小川部長、宮沢課長、長堀主事
議 題	議題 1 生涯学習推進会議議長の選出について 2 生涯学習推進会議副議長の選出について 3 調査・研究課題について（平成24年度・25年度）
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題 1 委員の互選により栗原委員を議長とした 2 委員の互選により佐々木委員を副議長とした 3 市内の生涯学習活動団体の現状を把握するためアンケートを実施することとし、そのアンケートの内容を検討することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめらる。)	<p>議題1 生涯学習推進会議議長の選出について 議題2 生涯学習推進会議副議長の選出について</p> <p>事務局 それではこれより、第1回生涯学習推進会議を始めさせていただきます。 本日は第1回目の会議です。従いまして議長および副議長が選任されておりません。 そこで、会議資料の4ページ、5ページでございます、 議題1 生涯学習推進会議議長の選出について 議題2 生涯学習推進会議副議長の選出について を初めに議題とさせていただきます。 選出につきましては、武蔵村山市生涯学習推進会議設置要綱第5条第2項の規定に基づき、委員の互選により選任していただきたいと思ひます。 どなたか御意見をお願い致します。</p> <p>委 員 議長には、3期目の委員の中から代表して、昨年も議長をして頂いた栗原委員を、副議長には、2期目の委員の中から代表して、佐々木委員を推薦致します。</p> <p>課 長 ただいま、議長に栗原委員、副議長に佐々木委員との推薦をいただきましたが、これにご異議ございませんか。 (異議なし)</p> <p>それでは、議長を栗原委員、副議長を佐々木委員をお願いしたいと思ひます。</p>

議題3 調査・研究課題について（平成24年度・25年度）

議長 議題3「調査・研究課題について（平成24年度・25年度）を議題と致します。
事務局より説明をお願い致します。

事務局 資料6ページ、調査・研究課題について説明致します。
今期の生涯学習推進委員の皆様には、今年度と来年度の2年間で「武蔵村山市の生涯学習活動を広げるために」を調査研究テーマとしていただきたいと思います。
このテーマを研究課題と致しましたのは、まず、生涯学習ガイドブックの2ページから21ページご覧頂きたいと思いますが、武蔵村山市内には、生涯学習課で把握しているだけでも393団体もの生涯学習活動団体がございます。
しかしながら、これらの団体が日頃の成果を発表したり、活躍の機会を与えられる「市民学園まつり」や「市民文化祭」などには限られた団体のみが参加している実態がございます。
武蔵村山市で活動している生涯学習団体が日頃どのような活動をしているのか、今後どのような活動を期待しているのかなどを把握し、武蔵村山市の生涯学習を広げて行くためにはどのような取組が必要であるか、委員の皆様にご調査・研究していただきたいと考えております。
調査研究結果につきましては、来年度の2月頃までに報告書にまとめていただき、本部長に提出したいと考えております。

今後の予定でございますが、次回は9月の会議を予定しております。この時には、生涯学習活動の現状を把握する為にアンケートを実施しようと考えており、皆様にそのアンケート内容を検討して頂きましてアンケートを完成させ、実施したいと考えております。
第3回の会議は12月頃を予定しており、この時には、実施したアンケートの集計報告を行い、現状把握に努めたいと思います。
第4回目の会議は2月頃を予定しており、報告書の骨子や役割分担を決め、平成26年度の会議では、報告書の作成、内容の検討を行い、平成27年2月に報告書の完成、報告という流れで実施して行きたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

議長 ただいま事務局より説明がございました。
本日は、生涯学習の実態把握の為にアンケートを実施するので、その調査内容の案について検討して頂きたいとのことですが、何か御意見はございますか。

委員 実施場所や実施方法等かいてあるが、実施内容について具体的な方法を検討するという事か。

委員 ガイドブックに記載されている団体は、どのような団体なのか。

事務局 市内の公共施設を利用している団体で、利用登録の際に団体の情報公開をしても良いとした団体のみが記載されております。

	<p>委員 それでは、この調査の対象は、現在把握できていない団体に対して行うものなのか。</p> <p>委員 調査の目的を再度確認したい。</p> <p>事務局 生涯学習活動団体の様子がわかる「市民文化祭」や「市民学園まつり」などに参加している団体以外にも、個々に様々な活動をしている団体があるので、その活動の状況や実態、団体が思っていることなどを把握したいと考えている。</p> <p>委員 「市民文化祭」や「生涯学習市民学園まつり」に参加してこない団体は、何故参加しないのかを把握できるようなアンケートをしたいということか。</p> <p>事務局 生涯学習団体がつながりをもって、武蔵村山の生涯学習活動が広がりを持てるように、表立った活動をしていない団体などが、日頃どの様な活動をしているのか、日頃の成果を発表したいと考えているのかなどの思いを把握し、それを基に今後どの様な対応が必要になるのか、更には新たなイベントの検討など出来たらと思い、まずは様々な団体の現状や思いを把握したいと考えている。生涯学習団体の現状が把握できるようなアンケート内容を御検討いただきたいと思う。</p> <p>委員 調査をする団体や調査対象をどうするかということか。</p> <p>事務局 そうです。生涯学習活動団体を把握する為にどの様なアンケートを実施するか、その対象や内容について御検討いただきたいと思っています。 「文化祭や学園まつりには参加していないが、規模を小さくして似たようなイベントを実施したい」という問合せを頂いた事もありますので、市内で活動している団体の思いなどを聞くことが出来たらと考えています。</p> <p>委員 そうでしたら、この調査の項目を、「対象団体」「実施方法」「内容」などにしたほうが良い。</p> <p>委員 公民館や地区会館以外にも、地区会館や自治会館や商工会などで活動している団体もあるので、そのような場所で活動している団体も把握できると良い。</p> <p>委員 アンケートを実施する際にあつた方が良いと感じた項目は、「あなたの団体の活動で悩んでいる事がありますか」「文化祭や学園まつりについて知っていましたか」「自分達の団体も参加できることを知っていましたか」など、団体の側が考えて、これは良いことかもしれないと思ってもらえるような、イベントなどにつながるような内容にすると良いと思う。</p> <p>委員 現状把握にアンケートは非常に効果的だと思うが、その他にも、こんな事をすれば現状が把握出来るよというような案や、こんな</p>
--	--

内容を聞けば良いのではないかという事を提案して行けばよいと思う。

委員 アンケートの実施対象だが、ガイドブックに記載のある団体だけでは無く、登録している団体全てに実施して頂きたいと思う。

委員 登録団体にならないというのには、活動場所の確保ができにくいという事もあると思う。既存の団体が優先的に使用していて、新たな団体が入りにくいというような話も聞かれる。いろいろな事業に参加してもらうにはどうするかというのも重要になってくると思うので、どういう中身にするのか箇条書きでもかまわないので、色々と挙げて頂くのが良いと思う。その意見をまとめて、次回の会議でアンケートを作成出来れば良いのではないか。

事務局 皆様から様々な意見をいただき、それらと事務局の案をまとめて、実施方法や実施対象も含めてアンケートの内容について次回お示ししたいと思います。

委員 会議の前に、アンケートの実施案を頂ければと思う。

委員 この調査の目的や主旨を記載していただいて、再度調査用紙を作成していただきたい。

事務局 調査内容案の項目を再度作り直し、調査の目的を加えたものを皆様に後日郵送致しますので、8月20日(月)までに御提出をお願い致します。

議長 それでは、事務局で再度調査内容案の用紙を作成し、郵送頂けるという事ですので、締切りの8月20日までに御検討いただきたいと思います。他に、今回の研究テーマについて御意見等ございましたらお願い致します。

委員 「武蔵村山市の生涯学習を広げるために」ということだと、範囲がとても広い。「市民文化祭や学園まつりを市民に広げることを通じて」などの文言を加えて、少し内容をしぼったほうがやりやすいのではないかと思う。まとめる時に意識しながら絞り込んだ方が良い。

議長 では次回は、副題等を検討しながら進めて行きたいと思います。その他何かございますか。

委員 生涯学習団体に関する調査ということだが、「武蔵村山市の生涯学習を広げるために」というテーマであるならば、市民の側に立ったアンケートも必要ではないか。団体ではなく、個人的に経済問題について学びたい、講演会やセミナーなどに参加したいなど、趣味や学習の幅を広げたいと思っている方もいると思う。

委員 アンケートの対象は多様にあって良いのではないか。

委員 今、御意見があったように「武蔵村山市の生涯学習を広げるために」となると、市民の意見を聞かないのもおかしい。そうすると、対象がかなり広くなり、検討すべき内容や調査の方法も難しくなってくるし、費用もどんどん増えてしまう可能性がある。やはり、対象、課題を絞り込んだ方が今回取り組むべき内容が明瞭になるし、最終的に報告書を作成する際にも絞り込んだ知恵を出せると思う。

委員 いろいろな視点での話をした上で、まとめて行く際に課題や核を決めて行けばよいのではないか。

委員 今回のアンケートは、団体を対象にするのか、それとも団体と個人を対象にするのか議論する必要がある。

事務局 事務局としては、今回団体を対象にしたアンケートを実施したいと考えております。しかし、今御意見があったように市民の意見を聞いていくことも必要だとは思いますが、市民の中から数人を抽出してアンケートを発送ということになると予算的にも難しい部分がありますので、団体とさせていただけたらと思っております。

委員 それでは、今回は団体を対象にアンケートを行って、その中で出てきた様々な意見を基に生涯学習を広げるために課題等を検討しながら内容を詰めていき、報告書を作成して、報告書に載せられなかった内容については、生涯学習スポーツ課が市民団体の意見として聞くということによろしいですね。

事務局 はい。可能であれば、多くの意見を報告書にも盛り込んで行けたらと思っております。

議長 それでは、本日の検討課題につきましては以上になります。

その他 生涯学習推進会議の年間予定について

事務局 今後の会議日程について決めさせていただきます。

第2回 平成24年9月5日（水）

第3回 平成24年11月28日（水）

第4回 平成25年2月20日（水）

とさせていただきます。

議長 本日の会議は以上となります。

次回は9月5日（水）午後2時からとなりましたので、よろしくお願い致します。

